

箱で抵抗力をつけて、 本田でずっと 満足就航



ルーチントレス[®] 箱粒剤

育苗期のいつでも使えて長く効く
いもち病・初期害虫・ウンカ・チョウ目防除剤。
「クロラントラニプロール」配合で
チョウ目に長い効きめ

- 植物病害抵抗性誘導剤「ルーチン」でイネ自身に抵抗力をつける!
- 2つの殺虫成分で幅広い害虫に確かな強さを発揮!



育苗期のいつでも使えて長く効く
いもち病・初期害虫・ウンカ・チョウ目防除剤。

ルーセントレス 箱粒剤

クロラントラニプロロール
配合で
チョウ目に
長い効きめ

農林水産省登録 第22915号

- 成分：イミダクロプリド……………2.0%
クロラントラニプロロール……………0.75%
インシアニル……………2.0%
- 毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指すという通称）

ルーセントレス箱粒剤の特長

- 育苗箱処理でいもち病や主要な水稻害虫に高い防除効果を示します。
- は種前から移植当日までと幅広い処理適期があります。
- イネに対して高い安全性があり、優れた残効性があります。

適用病害虫および使用方法 (2019年01月現在)

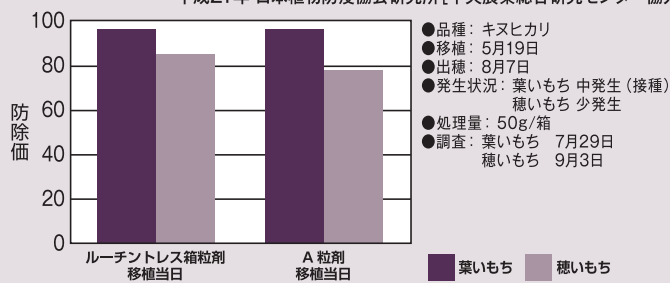
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	本剤:1回 イミダクロプリド:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布は2回以内) クロラントラニプロロール:1回 インシアニル:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	育苗箱の床土 又は 覆土に均一に 混和する。
	イネアザミウマ イネツトムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネヒメハモグリバエ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ コブノメイガ ニカメイチュウ フタオビコヤガ いもち病		は種時(覆土前) ～ 移植当日		育苗箱の 上から均一に 散布する。
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病 もみ枯細菌病		は種時(覆土前)		
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌)		移植当日		
	内穎褐変病				

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

試験成績

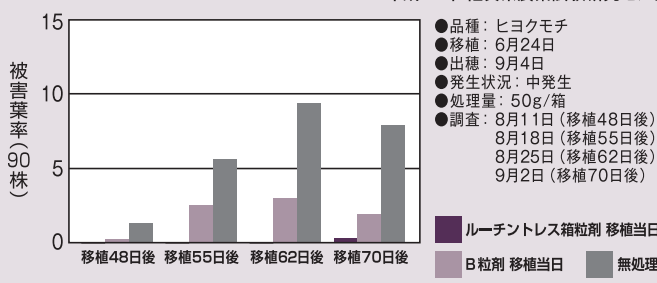
●いもち病に対する効果

平成21年 日本植物防疫協会研究所 [中央農業総合研究センター協力]



●コブノメイガに対する効果

平成21年 佐賀県農業試験研究センター



注意事項

- 本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用してください。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前及びは種時の処理により薬害が生じる恐れがありますので、これらの時期での使用を避けて下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがありますので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないように注意して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00
土・日・祝日を除く

(F-2021 19.01.JWT)